

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和5年度第1回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	令和5年5月17日（水）午後1時30分 ～ 午後2時40分
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：高橋 毅、星 菜々絵、柳 清美、須永 美智子、岩瀬 香世、 千田 祐子、押田 友紀子、武内 まゆみ、奥下 洋平、 佐々木 久子、小尾 裕美、下河邊 千草、富田 眞貴子、 秋元 優子 (計14名) 欠席者：佐藤 文、鈴木 正悦、馬場 均、平田 将太郎、溝口 睦子 (計5名) 欠員2名 事務局：障害福祉課長、認定審査係係長、認定審査係主事、認定審査係 主事、業務係係長、業務係主任
議 題	1 報告事項 (1) 令和4年度第3回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について (2) 各専門部会からの報告について (3) 令和4年度障害者就労施設等からの物品等の調達に関する実績報告 について (4) その他 2 議題 (1) 子ども支援部会の部会員の指名について (2) 暮らし安全部会の再編成について (3) 「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障害 児福祉計画」について
結 論 (決定した方針、残さ れた問題点、保留事項 等を記載する。)	議題 (1)子ども支援部会の部会員が指名される。 (2)暮らし安全部会の再編成が承認される。 (3)「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障 害児福祉計画」について、意見等がある場合は事務局まで連絡を お願いします。
審 議 経 過 (主な意見等を原則と して発言順に記載し、 同一内容は一つにまと める。) ●会長 ○委員 ■事務局	(事務局、各委員の自己紹介) ■令和5年3月31日付けで副会長が退任したことに伴い、新たに副会 長を選任する必要がある、要綱では委員の互選により選任すること となっているので、報告事項の前に副会長の選任をお願いしたい。 ●副会長に立候補、推薦する委員の方はいるか。 いないようなので、事務局から推薦はあるか。 ■事務局としては、押田委員を推薦したい。 ●事務局から押田委員を推薦したいとあったが、委員の皆様賛成でいい

か。

○反対意見なしで、全委員が賛成する。

●押田委員を副会長に選任する。

1 報告事項

●(1)令和4年度第3回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について 事務局から説明をお願いします。

■（事前配布資料及び当日配布資料の確認）

■(1)令和4年度第3回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について」説明

●何か質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(2)各専門部会から報告

●前回の協議会で、令和5年度第1回の協議会で今年度の活動方針を報告することになっているので、合わせて報告をお願いしたい。

(くらし安全部会から報告)

○5月10日に第1回の部会を開催した。内容の詳細は、議題(2)「くらし安全部会の再編成について」で話をする。

●何か質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(就労支援部会から報告)

○「武蔵村山わくわくワークマップ」の作成に取りかかっている。概ねの形ができ、QRコードを入れるところまで行ったが、依頼のあるところの修正の段階まで行っている。先日、第1回の部会で今年度の事業計画を話し合い、引き続き、「武蔵村山わくわくワークマップ」の作成の継続、お互いの事業所を知る目的で見学会実施、サンシャインホームでの障害者の体験実習の計画を考えている。また、部会は6回開催する予定である。

●体験実習の対象はどのような人なのか。

○B型作業所に通っている人などを考えている。

●マップはいつ頃完成するのか。

○秋くらいの完成を目指している。

●他に質問、意見等はあるか。

ないようなので、次に移る。

(地域相談支援部会から報告)

○毎月第3火曜日の午後に市内の事業所が集まり、情報共有や連絡会を行っている。今年度は、奇数月に事例検討を行い、その中でお互いに困っている課題を偶数月に掘り下げていくような取り組みが出来ればと考えている。また、就労支援部会同様に施設見学を検討している。

●他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(子ども支援部会から報告)

■子ども支援部会の報告については、部会長が3月に退任したため、事務局から報告する。令和5年3月29日に開催している。「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障害児福祉計画策定のための市民意識調査報告書」の子ども部分を抜粋して報告した。令和4年度中に行う予定であった。令和3年度に作成していた「子育てや発達が気になるお子さんの相談機関一覧」の市ホームページ掲載が出来なかったため、令和5年度に掲載する予定である報告を行った。

●質問、意見等はあるか。

■障害福祉課で案を作成していて、今年度中の早い段階で公開を目指している。

●前会長が退任したため、今後、協議会の中で報告等は誰が行うのか。

■前会長から後任の推薦をもらっているため、その方をお願いする予定である。

●他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

■(3)「令和4年度障害者就労施設等からの物品等の調達に関する実績報告について」説明

●質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(4)その他

●委員から何か意見等はあるか。

○特になし

●事務局から何かあるか。

■特になし

●ないようなので、次に移る。

2 議題

(1) 子ども支援部会の部会員の指名について

●事務局から説明をお願いします。

■「子ども支援部会の部会員の指名について」説明

●何か質問、意見等はあるか。

ないようなので、このメンバーを指名することとする。

■本日指名されたことから、6月中に第1回目の部会を開催することとする。

●今回、子ども支援部会の部会員の指名を行ったが、他の部会の部会員の指名を行う必要はないのか。

■現在、子ども支援部会のみ、要領を作成してある。今後、他の部会も要領を作成する予定である。その後、必要があれば、部会員の指名をお願いします。

●他に質問、意見等はあるか。

ないようなので、次に移る。

(2) 暮らし安全部会の再編成について

●事務局から説明をお願いします。

■『暮らし安全部会の再編成について』説明

「障害者の暮らしを考える部会」と「地域支援事業所部会」に再編

●何か質問、意見等はあるか。

○「地域支援事業所部会」は、今後、活動方針を考えていく。また、2か月に1回の開催を検討している。

○「障害者の暮らしを考える部会」は、2か月に1回の開催を検討している。市内の防災について検討してきたが、市の防災地図がわかりづらいので、はっきり分かるものにしていきたいと前回の部会で話し合った。

●他に質問、意見等はあるか。

ないようなので、「暮らし安全部会を部会」を「障害者の暮らしを考える部会」と「地域支援事業所部会」に再編することによるしいか。

○了承する。（全出席委員）

●今後はこの体制で活動をお願いしたい。活動方針は出ているが、早速

部会を開催し、取り組みを決めてもらい、活動してもらいたい。また、「子ども支援部会」についても取り組み内容を決めて、活動をお願いしたい。それでは、次の議題に移る。

(3)「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障害児福祉計画」について説明

●事務局から報告をお願いする。

■「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障害児福祉計画」について説明

●今回の協議会の中で何か決定などするのか。

■今回配布した資料を確認して、意見などあれば障害福祉課まで回答をお願いしたい。

●基本的には持ち帰ってもらい確認してもらうが、この場で質問、意見等はあるか。

○報告書の5ページの防災対策で、避難所の設備について、不安、避難所での医療手当が不安というのがあり、サンシャインホームは、2次避難所の指定を受けていて、1次避難所の受け入れが厳しい時に受け入れをする体制になっている。基本的な物品は整備してあるが、受け入れる人が何を求めているか、受け入れる側も分からない。避難所に入らなければならない人が不安を持っているのはわかるが、どこまで準備しなければならないのか、受け入れる側も不安がある。今のところ簡易ベッドや食料は準備してあるが、災害時に職員が十分に配置できるとは限らないので、職員分を含めて3日分の食料は用意してあるが、このようは状況の人が避難所へ行くなど、どこを絞って準備していいのか。事前にわかれば、受け入れしやすいので、検討をお願いしたい。

■サンシャインホームも含め、市内の福祉避難所は協定を結んでいる。障害福祉課で物品の調査をしているが、今後もヒヤリングを行いたい。また、要望のあったことは、計画の中に記載するように検討していきたい。

●福祉避難所の情報がほぼないので、福祉避難所とは何かなどの情報がないところで不安が生じている。一つの課題と考えられる。

○市内には福祉作業所が多くあるが、ここを福祉避難所にするにはできるのか。

■今の福祉避難所は市と協定を結び、あくまでもお願いしている形になっている。指定避難所となると受け入れなければならなくなるが、今ある福祉作業所をすべて福祉避難所にするレベルではない。あくまでもお願いして増やしていくことになる。

○協定であるとそうなると思うが、災害が起きた時は、一番近いところ

に避難するのが良くて、グループホームやB型作業所などを自立支援協議会で福祉避難所として指定することはできるのか。

■「障害者のくらしを考える部会」で検討してもらいたい。

●福祉避難所は、スペースや人員が必要で施設のどこでも対応できる訳でなく、一定の広さがあるところでないといけない。

○東日本大震災の時に多くの体育館の避難所で、一番大変で困ったことは、自閉症の方の対応であったと聞いている。何百人が避難している中で、数人の自閉症の方は事業所に避難したほうが、本人たちが楽である。

●自閉症の方など避難できる福祉避難所を指定するなどして、どこでも良いというのはどうかと思う。
他に質問、意見等はあるか。
計画の関係で意見などあれば、障害福祉課に連絡をお願いする。
それでは、次に移る。

(4)その他

●何か意見等はあるか。

○「くらし安全部会を部会」が「障害者のくらしを考える部会」と「地域支援事業所部会」に分かれるが、「子ども支援部会」のメンバーが、医療関係者、学校関係者などで構成されていて、また、新たな事業所も加わって、発達障害の子に対して大変機能しているように感じる。それに対して、「障害者のくらしを考える部会」のメンバーは障害当事者会のみであり、このメンバーだけでは議論できないものもあり、「地域支援事業所部会」においても同様である。そこで、「地域支援事業所部会」の下に日中就労、生活介護、居住関係など意見を集約できるような組織を作ったほうが良いのでは、以前、放課後等デイサービスの事業所が集まって、話し合いを行い、その結果を自立支援協議会に報告したことがあったので、それぞれの部会の下に任意の組織を作ることができるのか。

■以前、部会を集約したことがあるが、再度、部会を分割することなのか。

○分割することではなく、部会の下に色々な事業所が集まって情報共有をしたいということである。

■高齢福祉では事業所連絡会のようなものがあり、部会の下にあるということではなくて良いのか。また、最終的な目標は何か。

○障害に関する様々な情報の交換である。

○障害の子ども母親が、施設に入所させたいと考えた時、どのような施設があるかわからなく、施設の内容がどうなのかという話が部会で出た。連絡会を作ることによって詳細な情報が共有でき、集約できる。

	<p>■各部会の下で行政の指導でなく連絡会を作ることは問題ない。</p> <p>○「くらし安全部会」が二つに分かれたことで、分かれた部会員の限られた人数の中で参加する人数も少ないことがあり、母親は色々な情報が欲しいところであるが、そこで、参加してもらえる事業所が多ければ、多くの情報を得ることができる。</p> <p>■自立支援協議会の下部組織である必要はなく、あくまでも任意の組織ということか。</p> <p>○そのとおりである。</p> <p>●「子ども支援部会」のように要領に基づき、部会員を指名したが、他の部会も同様にして行くということなので、勝手に部会で連絡会を作るのはどうなのか。</p> <p>■部会については、自立支援協議会の会長が指名するようになっているが、下部組織については、案として言ったものである。</p> <p>●自立支援協議会の組織としてはどうか。連絡会を作りたいというのはわかるが、自立支援協議会の組織であると、市が関わってくるので、どのように、整合を図るかを考えなければならない。下部組織なのか任意の組織なのか具体的になっていないので、どのようにしていくか。</p> <p>■今後、話し合いをして調整していくことでよろしいか。</p> <p>○了解した。</p> <p>●他に何かあるか。</p> <p>■特になし</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 傍聴者： <u> 0 </u> 人</p> <p>□一部公開</p> <p>□非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">()</p>
-------------	--

会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p>□一部開示（根拠法令等：)</p> <p>□非開示（根拠法令等：)</p>
--------------	---

庶務担当課	健康福祉部	障害福祉課	（内線：642）
-------	-------	-------	----------

（日本産業規格A列4番）